



ACC2024年度助成 概要

アジアン・カルチュラル・カウンシル（ACC）は、アジアと米国、そしてアジア諸国間における個人や団体による文化交流活動への支援を通して、国際対話、相互理解や尊敬を深めることを目指しています。

ACCの助成プログラムでは、異なる文化に長期的に身を置くことができる機会を提供しています。ACCによる、一人ひとりのニーズに合わせた支援は、助成受給者の視野を広げ、創造的な成長を促し、価値ある国際的なつながりを育みます。

ACCでは、助成受給者との長期的な関係構築に重きを置くなかで、彼らが革新的な経験を分かち合い、国際的なつながりを育むコミュニティの形成を促しています。

また、国際渡航費の支援のみならず、受給者が個々に渡航先での活動を計画し、異文化体験に集中することができる貴重な機会を提供しています。

ACCは、作品制作や展示に主眼を置いた活動を支援しないという、独自の方針をとっています。その代わりに、ACCのフェローシップや助成は、選ばれた助成受給者に豊かな文化体験の機会を提供することを目的としています。ACCの支援により、慣れない環境にある程度の期間身を置くことで、助成受給者は日々の責務や予定から解放され、視野を広げそこで学んだ経験を創作活動に取り入れることができるようになります。

これを踏まえ、ACCでは文化交流支援を目的とした4種類の助成プログラムを実施しています：

- ニューヨーク・フェローシップ
- 個人フェローシップ
- 大学院フェローシップ
- 団体助成

各助成プログラムの募集要項をよく読んで、自身の申請資格やニーズに合った助成プログラムを検討してください。2024年度の募集期においては、複数の助成プログラムへの申請は認められません。必ず一種類のみを選択のうえ申請ください。

ACCは、技術革新の急速な発展に伴い、芸術が一層その交差性を増していることに着目しています。2024年度の募集期においては、芸術、テクノロジー、文化の関係性に焦点を当てた申請を歓迎します。

ACCは、継続的な芸術的・専門的発展への意欲をもった芸術家や専門家を求めています。申請者は、フェローシップがいかに関自身の成長を促すかを示すとともに、キャリアを発展させるための目標や方法、計画を明確に説明できることが求められます。

2024年度募集期においては世界各地域で公募します。ACCは、アジアおよび米国を拠点とする個人および団体からの申請を受け付けます。申請者は、推薦状1通に加え、他2名の照会先（氏名、Eメールアドレス、電話番号）を提出する必要があります。すべての申請書類は、国・地域内及び海外の専門家からなる選考委員によって審査されます。対象国の詳細については、こちらをクリックしてください：[対象国／地域](#)

なお、ACCの次回募集期は2025年秋頃に、上記対象地域のうちアジアからの申請のみ受け付けます。

申請資格

- [対象分野](#)においてアーティスト、研究者、専門家として活動していること。
- 申請内容が16の対象分野のいずれかに該当すること。
- 一回の募集期につき、1種類の助成プログラムのみ申請が可能。
- 過去2年間にACCから助成を受けていないこと。
- ACCでは、新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨しています。渡米する受給者に関しては、提携団体などからワクチン接種を求められる場合があります。
- 申請活動内容は、以下の助成期間内に開始、また終了する必要があります。
 - 香港、マカオ、中国、日本、フィリピン、台湾からの申請者：
2024年8月1日～2025年12月31日まで
 - 米国及び以下のアジア地域における支援対象国・地域からの申請者：
2024年8月1日～2026年12月31日まで
 - アフガニスタン
 - バングラデシュ
 - ブータン
 - ブルネイ
 - カンボジア
 - 東チモール
 - インド
 - インドネシア
 - 韓国
 - ラオス

- マレーシア
- モンゴル
- ミャンマー
- ネパール
- パキスタン
- シンガポール
- スリランカ
- タイ
- ベトナム

助成対象外の活動内容及び費用

- 活動内容
 - 助成期間（上記参照）以外に実施される活動及び事業
 - 売り込みなどのプロモーション活動（旅費、広報、マーケティングなどにかかる経費）
 - 商業及び工業デザインに焦点を当てた活動、またはいかなる種類の商業活動や商業アーティストを組み込んだ活動
 - ワークショップ、芸術文化フェスティバル、カンファレンスへの参加やレジデンスプログラムへの参加のみに焦点をあてた活動
- 事務手続き
 - ACCは、受給者の配偶者やパートナー、子供、その他家族に対してビザや資金を提供しません。
- 活動経費/支出
 - 制作に基盤をおいた経費（例：2025年1月1日までに企画Xを完了するための資金）
 - 固定資産及び設備購入費
 - 公演、展覧会、ファンドレイズイベントやレセプション等のイベントの企画及び実施費用や直接経費
 - 幼稚園から高校における芸術教育のための費用
 - 大学院、大学、中等教育における授業料等学費
 - ACCの助成金を他への助成金として交付する活動

2024年度助成申請と選考過程のスケジュール

- 申請受付期間：2023年11月1日～11月30日

- 申請締切日時：米国東部標準時 2023年11月30日23:59（日本時刻：2023年12月1日13:59）
- 選考期間（審査及び面接実施時期）：2023年12月1日～2024年4月30日
- 理事会承認：2024年5月中旬
- 結果通知：2024年5月中旬
- 上記に加え、ACC各地域オフィスにて追加される過程がある場合があります。

選考評価基準

申請書類は以下の選考評価基準をもとに審査されます：

- ACCの理念との合致：文化交流を目的としていること
- 申請活動内容（実現可能性、明確性、期待される効果・影響）
- 芸術的及び専門的な価値
- 申請者のキャリアにおいて重要な意味を持つタイミングかどうか
- 渡航先の国・地域でのコミュニケーション能力

選考委員について

- ACCでは、幅広い分野における国内・海外の専門家から審査の協力を得ています。
- 審査員の名前は、ACCの各国・地域オフィスの判断により公表されます。

ニューヨーク・フェローシップ 募集要項

プログラム概要

ニューヨーク・フェローシップは、分野を超えて活動するアーティストや研究者、芸術における専門家を対象とし、ニューヨークでの6ヶ月間の滞在を通して、自身の芸術的実践を発展させ、現地の豊かで多様な文化的生活に浸ることができるよう支援するプログラムです。

ニューヨーク・フェローシップは、受給者にニューヨークの多様な文化に対する理解を深めてもらうことに主眼を置いています。文化理解は形式や方法を問わず、実際に体験することによって各々に培われるものであり、文化交流の影響は多様な形で表れてくるものとACCは考えます。申請者には、このフェローシップを通して得たいものや成果を明確に説明できることが求められます。

この6ヶ月間の助成は、レジデンスプログラムへの参加や個人的なプロモーション活動・宣伝ツアーを支援するものではありません。ニューヨーク・フェローシップは、日々の活動から離れ、ニューヨークの豊かな文化に深く浸ることのできる貴重な機会です。ACCは、受給者がフェローシップの経験から得た学びや視点を自身の活動に反映させ、後に母国の芸術・文化コミュニティに良い影響をもたらすことを期待しています。

以下のような内容を含む申請書は高い評価に繋がります：

- 6カ月間のニューヨーク滞在中の調査内容や取り組みの計画についての明確な記述。
- 自身の調査プロジェクトに関する活動内容の概要リスト。フェローシップ期間をどのように過ごす予定かお聞かせください。日々の詳細な予定の提出を求めているわけではありません。
- 自身の調査プロジェクトに役立つ可能性のある関係者や人脈。
- 自身の専門領域に影響をもたらしたこれまでの実績、また、今後も自身の専門分野において価値ある貢献ができる可能性があることを示せること。

ニューヨーク・フェローシップ申請資格

- フェローシップ開始日までに21歳以上であること。
- アーティスト、専門家として5年間の活動歴があること。
- フルタイムの学生でないこと（学生を本業としていないこと）。
- 過去にACCのニューヨーク・フェローシップを受給した方は、再度申請することはできません。

- ACCから団体助成を受けた事業に参加したことのある方は、ニューヨーク・フェローシップへの申請資格の有無について、applications@accny.orgに問い合わせのうえご確認ください。

渡航に関して

- ニューヨーク・フェローシップは、アジア諸国から米国への渡航のみを支援します。

助成金額

- 6ヶ月間で35,000米ドル
 - ニューヨーク・フェロー（ACCニューヨーク・フェローシップ受給者）は、自身の調査プロジェクトやニューヨークの物価高に応じて、ご自身で助成金や個人資金を管理することが求められます。

ACCからのサポート内容

ニューヨーク・フェローシップは、1年につき6ヶ月間ずつ、2つのコホート（グループ）に分かれます。第1期の滞在期間は1月初旬から6月末まで、第2期は7月初旬から12月末までとなります。アジア諸国から参加する他のアーティストやパフォーマー、研究者、専門家のフェローの方々といずれかのコホートに加わっていただきます。滞在中はコホートメンバー同士（同期の仲間）で交流し、学び合い、ACC企画のグループ活動に参加し、ニューヨークのコミュニティとつながる機会を持っていただきます。

ACCがニューヨーク・フェローに対して提供する具体的なサポート内容は以下となります。

活動内容におけるサポート

グループ活動

- ニューヨーク・フェローシップでは、フェローの皆様を選びすぐりの様々な施設にお連れし、ニューヨークの豊かな文化的土壌を紹介する一連のグループ活動を提供します。フェローシップ参加者それぞれの関心や調査テーマに合わせて、コホートごとに企画されます。

フェローシップ・オフィス・アワー（ACCニューヨークオフィススタッフとの面談）

- 週に2回のフェローシップ・オフィス・アワーでは、ACCニューヨークオフィスのプログラムスタッフから現地での自身の活動についてのフィードバックやアドバイスを受けることができます。調査を進めるために必要なリソースや人々の紹介、情報をフェローそれぞれのニーズに合わせて提供します。

渡航や滞在におけるサポート

J-1ビザ：

- ACCでは、受給者の渡航予定に先立ち、J-1ビザ取得の手続きを行います。
- すべてのニューヨーク・フェローは、J-1ビザの取得が義務付けられています。
- すべてのニューヨーク・フェローは、スペシャリスト枠のJ-1ビザを取得します。
 - 学術研究者のJ-1ビザとは異なるカテゴリーのビザとなります。
- ACCニューヨークオフィスでは、配偶者やパートナー、お子様などを含む受給者本人以外のJ-1ビザ取得の支援は行いません。
- J-1ビザ取得費用は、助成金額から差し引かれます。

海外旅行健康保険：

- ACCでは、フェローシップ受給者の渡航予定に先立ち、海外旅行健康保険の加入手続きを行います。
- すべてのニューヨーク・フェローは、J-1ビザ要件を満たすため、健康保険への加入が義務付けられています。
- ACCで購入する当健康保険は交渉不可のものとなりますが、追加で自国の海外旅行保険にご加入いただくことに問題はありません。
- 当健康保険への加入費用は、助成金額から差し引かれます。

ニューヨークでの住居について：

- ACCのニューヨーク・フェローは、以下のいずれかを選択することができます：
 - インターナショナル・ハウス*のワンルームの部屋（当住居の手配はACCニューヨークオフィスが行います。）
 - *通称 アイ・ハウス。マンハッタンのモーニングサイド・ハイツにある、海外からの研究者や大学院生向けの集合住宅施設。
 - 自分自身で住まい探しや予約、手配をおこなう方法。
- ACC各地域オフィスの担当者（プログラム・オフィサー）は、ニューヨーク・フェローシップ受給者が選んだ住居オプションを確認のうえ、利点と欠点について説明を行います。
 - 受給者が自身でニューヨークでの住居を確保することを選択した場合、ACCは、住居探し、住居確保のための手続き、アパートや滞在場所に関する提案、アパートの維持管理に関する問題、住居詐欺が起きた場合の対応について責任を負いません。また、ACCは受給者の身元保証人や連帯保証人になることはできません。
- 受給者は、フェローシップ開始日の4ヶ月前までには必ず上記に関する決定をACCに通知する必要があります。

- 受給者には自身の住居に関する決定について責任を負っていただきます。インターナショナル・ハウスでの宿泊を希望する受給者は、ニューヨーク・フェロースhip開始日の4カ月前までに予約する必要があります。それ以降は確約の保証ができません。希望する滞在先を確保するためには、迅速な対応が不可欠です。

ニューヨーク・フェローに求められること

- ニューヨーク・フェロースhip受給者は、以下のコホート期間（滞在期間ごとに分かれるグループ）から1つを選択し、6カ月間のプログラム期間を全うすることが求められます。
 - 香港、マカオ、中国、日本、フィリピン、台湾からの申請者
 - 2025年1月～6月
 - 2025年7月～12月
 - アジアにおける支援対象国・地域からの申請者（以下リスト参照）
 - 2025年1月～6月
 - 2025年7月～12月
 - 2026年1月～6月
 - 2026年7月～12月
- アフガニスタン
- バングラデシュ
- ブータン
- ブルネイ
- カンボジア
- 東チモール
- インド
- インドネシア
- 韓国
- ラオス
- マレーシア
- モンゴル
- ミャンマー
- ネパール
- パキスタン
- シンガポール
- スリランカ

- タイ
- ベトナム

これらの期間すべてに参加できない場合は、フェローシップ期間を短くすることができ、個人フェローシップへの申請をご検討ください。ニューヨーク・フェローシップの日程と期間は調整不可となります。

- ニューヨーク・フェローは、6カ月間のフェローシップ期間中、カンファレンス出席のための海外渡航などを含め、外での予定を最小限に抑えることが望まれます。
- ニューヨーク・フェローシップは、新作の制作や展示、公演、プレゼンテーションなどの一般の人々に向けた活動を支援するものではないことをあらかじめご了承ください。ACCは、作品制作に基づいた要望に関する支援は行いません。
- 他からの助けがなくとも自身のニーズに応えることができる自立した個人であり、臨機応変に対応できる力を持ち、好奇心をもって自身の芸術分野領域を超えた探求に意欲的であること。
- 世界で最も文化的、民族的に多様な都市のひとつであるニューヨークには、800万人を超える多様な背景を持った人々が暮らしています。そのため、ニューヨーク・フェローには、この活気ある都市を構成する多様な文化やコミュニティ、歴史を尊重し、オープンな態度で助成期間を過ごすことが求められます。
- 特別な言語サポートを必要とせず、会話に参加し人間関係を築くために必要な英語を自信を持って話せること。
 - ACCニューヨークオフィスでは、ニューヨーク・フェローシップにおける通訳のための追加費用を支給しません。翻訳者または通訳者にかかる予算または経費は、助成金から差し引かれるか、受給者が別途自己負担する必要があります。
 - 受給者によって英語能力はそれぞれ異なりますが、ニューヨーク・フェローには、日々の作業をこなし、基本的なEメールを書くことができ、必要なときには助けを求めることができる英語能力が求められます。

ニューヨーク・フェローシップに関するFAQ（よくあるご質問）

- ニューヨーク・フェローシップ期間中にニューヨーク市外を訪れることは可能ですか。
 - ニューヨーク・フェローシップ期間中は基本的にニューヨーク市内に滞在していただきますが、自身の調査内容や関心に基づき米国内の他の場所を訪問することは奨励されています。
- ニューヨーク・フェローシップ期間中に米国外へ出国することはできますか。
 - はい。受給者はフェローシップ期間中に出国することができます。ただし、その際には、ACCニューヨークオフィスの担当者（プログラム・オフィ

サー)に連絡を取り、ビザに関する要件や詳細を確認し、必要な手続きを別途行う必要があります。

- ニューヨーク・フェローシップ期間中、配偶者やパートナー、子供を同伴することは可能ですか。
 - フェローシップ期間中、配偶者やパートナー、子供がニューヨークを短期で訪問することは構いませんが、フェローシップ全期間を通じて滞在することはお控えください。
- ACCは私の配偶者またはパートナー、子供にビザを提供してくれますか。
 - いいえ。ACCはフェローシップ受給者以外の方に対するビザ取得支援はいたしません。
- コラボレーターを伴ってニューヨーク・フェローシップに申請することはできますか。
 - いいえ。ニューヨーク・フェローシップはコラボレーターの帯同を認めていません。コラボレーターを伴う場合は個人フェローシップに申請ください。
- ニューヨーク・フェローシップと個人フェローシップの違いは何ですか。
 - ニューヨーク・フェローシップと個人フェローシップは同じように思われるかもしれませんが、いくつかの明確な違いがあります。以下をご確認のうえ、活動内容、個人的・専門的なニーズ、今後の予定に合わせて、どちらのフェローシップが最適かをご判断ください。

| 個人フェローシップ | ニューヨーク・フェローシップ |
|--|---|
| 申請受付対象：米国からアジア諸国、アジア諸国から米国、アジア諸国間 | 申請受付対象：アジア諸国から米国のみ（ニューヨークに滞在） |
| 調査や具体的なプロジェクト実施を主目的としていること。申請書には、詳細なプロセス、旅程や成果物の内容の記述が求められる。 | 文化的、芸術的探求を主目的としていること。この機会が申請者のキャリアや個人の成長に与える影響が評価される。 |
| 滞在期間は1～6ヶ月間 日程は自身で決定。 | 1月もしくは7月から開始、各6ヶ月間の滞在。 日程調整不可。 |
| 活動内容におけるサポートは限定的。 | 宿泊施設の手配や活動内容におけるサポートを提供。 |
| 4名までのコラボレーターを含めて申請することが可能。 | コラボレーターの帯同は不可。 |

- ニューヨーク・フェローシップに申請したいのですが、所定の6カ月間のうち4カ月しか参加できません（例えば、2025年1月～4月まで）。それでも申請可能ですか。
 - いいえ。その場合は個人フェローシップに申請ください。
- ニューヨーク・フェローシップに申請したいのですが、2025年1月、7月、2026年1月、7月に開始することができません。それでも申請可能ですか。
 - いいえ。ニューヨーク・フェローシップにおける開始及び終了の日程は交渉不可です。開始時期の調整ができない場合は、個人フェローシップに申請ください。

一般的な FAQ（よくあるご質問）

- 観光ビザでの渡米は可能ですか。
 - いいえ。個人フェローシップ、ニューヨーク・フェローシップ、団体助成におけるすべての受給者はスペシャリスト枠のJ-1ビザで渡米する必要があります。大学を通じてF-1ビザを取得する必要がある大学院フェローをのぞいて、ACCでJ-1ビザ取得支援をおこないます。
- 過去にACCの助成金を受けたことがあります。再申請は可能ですか。
 - 過去に助成を受給したことのある方（アラムナイ）も再申請が可能です。ACCは、アラムナイの皆様による国際的ネットワークの強化や拡大を積極的に支援しています。アラムナイの皆様は、以下の例外を除き、どのカテゴリーにも申請することができます：
 1. 過去にニューヨーク・フェローシップを受けた者は、再度ニューヨーク・フェローシップに申請することはできません。
 2. 過去に6カ月間のフェローシップや同等の予算規模の助成金を受給したことのあるアラムナイは、それと同程度の助成を再度得ることは難しい傾向にあります。
 3. 過去2年間、ACCから助成金を受けていないこと。
- 一回の募集期で、複数の助成プログラムに申請することは可能ですか。
 - いいえ。一回の募集期につき1種類の助成プログラムにのみ申請可能です。
- 私の質問はここでは解決されませんでした。ACCのスタッフにメールで問い合わせることは可能ですか。
 - application@accny.orgまでご連絡ください。
- 渡航を伴わないオンラインのみの活動に関する申請を提出することはできますか？
 - ACCは、過去に新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う渡航制限のため、渡航を伴わないオンラインでの活動を助成したことがありますが、今後は、文化交流

というACCの理念に沿った人々との直接的な交流体験に関わる活動のみ助成します。